

# 気になるNEWS

ニュース



6月1日

## 高大連携の探究活動が開始

三重県立津高等学校で、高校生が取り組む探究活動の授業に大学のTA(ティーチングアシスタント)が生徒の研究補助として参加する高大連携の課題研究が始まり、三重大学からは10名のTAが参加しました。平成31年2月2日のSSH(スーパーサイエンススクール)生徒研究発表会を目指して、TAの研究補助を受けながら約10回の課題研究を行います。



## 5日 東紀州サテライト 東紀州教育学舎開所式

三重大学東紀州サテライト東紀州教育学舎(本本高等学校旧寄宿舎 南風寮)において、東紀州教育学舎開所式を行いました。東紀州教育学舎では、三重大学教育学部の教員がそれぞれの専門分野の知識と経験を生かし、東紀州地域及びその周辺地域の教育を様々な形でサポートすることを目指しています。



## 21日 海外インターンシップ報告会

工学部の「海外短期インターンシップ研修」は2015年度の三重大学機能強化推進プロジェクトである「地域活性化に向けた人材育成ネットワーク構築プロジェクト」として開始し、その成果を受けて3度目の実施となりました。ベトナム・フィリピン・タイでインターンシップを行った学生がそれぞれ報告を行いました。



7月4日

## 学生支援サミット2018～魅力ある課外活動の未来をともに展望しよう～

このサミットは、学生・教員・職員が協働しながらディスカッションを行い、より良い三重大学となるよう考えていく貴重な機会として、学生総合支援センター主催で毎年開催されているイベントです。本年度は約95名が参加し「課外活動を活性化させるために自分たちができること」をテーマにディスカッションなどを行いました。



## 10日 七夕ECOOLフェスティバル @MIEU2018

環境省実施の「CO2削減/ライトダウンキャンペーン」の一環として、環境ISO学生委員会の主催による「七夕ECOOLフェスティバル@MIEU2018」を開催しました。イベントでは、節電などの環境活動を紹介し、夏に關したECOクイズを実施する等、参加者の方と楽しい時間を過ごしました。



## 28日 ジュニアドクター育成塾開講式

この育成塾は三重大学が中心となって策定するジュニアドクター養成プログラムの一環で、科学研究に強い関心と潜在的な才能を持つ児童生徒を対象に、未来の科学者を育成しようとするものです。平成30年度は応募者の中から選ばれた小学5年生から中学3年生までの児童生徒40名が三重県内の4地区の会場で受講します。



8月5日

## 2018 Ene1-GP SUZUKA

鈴鹿サーキットで開催されたEne1-GPに三重大学電気自動車研究会が参加しました。このレースは、充電式の単三電池40本を動力に、鈴鹿サーキット国際レーシングコースフルコース(1周5.807km)でタイムアタックを3回行い、その合計タイムで競います。今年、三重大学と南台科技大学の共同チーム「日台之翼 Ene-1 Team」で新しく共同製作した「MT-03F」一台での参加となりました。



## 8日 10日 三重大学オープンキャンパス2018

8日に人文学部、生物資源学部、9日に医学部医学科、医学部看護学科、10日に教育学部、工学部のオープンキャンパスが開催され、3日間で5374人の参加がありました。



## 21日 23日 三重大学と鈴鹿医療科学大学の 合同ワークショップ

地域総活躍社会のための「慢性疼痛医療者育成コース」のワークショップを開催しました。これは文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラムにおける鈴鹿医療科学大学との合同事業です。本学の医学部医学科と看護学科の学生20名と、鈴鹿医療科学大学の学生21名、計41名が、3日間のプログラムに参加しました。



9月8日 9日

## 栗真地区敬老行事に学生が出演

三重大学近隣の栗真地区社会福祉協議会が主催する「敬老のつどい」が開催され、三重大学課外活動団体の邦楽部、音楽サークルBb、ジャグリアーノ、応援団、ギターマンドリンクラブ、フラメンコサークルOle!が出演しました。総勢200名程が参加し、参加者・出演学生ともに楽しい時間を過ごしました。



## 26日 企業説明会 & マッチング会

就職活動を続けている学生が採用活動を続けている企業とゆっくり話ができるように、時間制限を設けない企業説明会にしました。三重県内の優良企業のうち、10社にご参加いただき、当日はキャリアカウンセラーによる相談コーナーが設けられ、一人一人個別に対応しました。



## 30日 JAPAN MATSURI

ロンドン・トラファルガー広場でJAPAN MATSURIが開催されました。NHK WORLD-JAPAN提供による伊賀流忍者特殊集団阿修羅の忍者ショーが披露されて大きな反響があり、会場から寄せられた忍者についての質問に、三重大学人文学部の山田雄司教授が答えました。ブースでは、忍者との記念撮影や質問のための長い列ができ、イギリスでの忍者人気の高さが感じられました。



10月6日

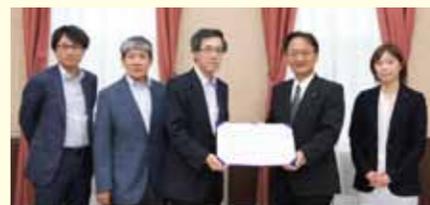
## 企業研究会 in 東紀州

「企業研究会 in 東紀州」を開催し、三重大学学生29名を含む50名の学生が参加しました。学生が実際に東紀州を訪れ、地域や地元企業の魅力を知り、その地域で働くこと、暮らすことがイメージできるよう企画し、熊野市、尾鷲市のPRビデオを視聴したほか、世界遺産の熊野古道について解説を受けました。



## 10日 三重大学地域創生戦略企画室と 東京大学地域未来社会連携研究機構との連携協定調印式

三重大学では、東京大学との間で「地域拠点サテライト」を足場とする連携や、「地域創生戦略企画室」が窓口となる連携体制の充実を図りながら、基盤となる本学の各学部・研究科の教員や学生が東京大学との関係を深め、相互の教育・研究の充実と、地域創生に寄与することを目指して様々な活動に取り組んでいきます。



## 27日 トヨタ・ソーシャル・フェス in 松名瀬 2018(秋)

トヨタ自動車(株)の支援を受けて、三重大学や地域住民、企業、メディア、行政との連携事業として、三重県初のラムサール条約への登録を目指した活動の一環です。海岸清掃や干潟の生物多様性学習などの環境活動を行い、ごみのない、豊富な生物多様性の松名瀬干潟を創り、三重県初のラムサール条約登録に向けて活動しています。



## 27日 秋のミニ・オープンキャンパス

今年度新たな企画として秋のミニ・オープンキャンパスを開催しました。個別相談会では学部・学科毎に個別ブースを設置し面談形式で行われ147名が参加しました。また現役三重大生による先輩と語ろうブースでは93名の参加、新企画の新旧入試動向ミニ解説では大学入試改革についての解説を行い、65名が参加など大学入試改革に対する関心の高さがうかがえました。



## 11月6日 津波避難訓練

今回の避難訓練は、伊勢湾に津波警報が発表された場合を想定し、学内の指定避難建屋ごとに垂直避難する動作を確認しました。身分証明書をICカードリーダーで読み込み、建屋ごとに避難状況を対策本部に報告しました。また安否確認システムによる安否状況の把握を行いました。

